

令和7年 年頭のあいさつ

会長 松井 等



新年、明けましておめでとうござい
ます。

昨年中は、会員の皆様にセンター
事業運営にご協力をいただき有難く、
御礼申し上げます。

昨年は、元日の能登半島地震を
皮切りに、不穏な天災に見舞われた
一年でした。桜の開花は平年より
早く、夏の異常な暑さ、各地での線状
降水帯による大雨被害、頻繁に起こ
る地震など、地域や季節を問わず
不安を感じさせられました。収まり
かけたコロナ感染症が秋頃から
復活し、相当数の会員が感染しま
した。

一方、安全対策や防災対策には、
普段より心を配るようになったの
ではないでしょうか。避難場所の
確認や防災グッズの準備、再度点検
を見直すなど、他人事とは思わずに

十分にご注意いただきたいと思います。

さて、本年はどのような一年に
なるでしょうか。

昨年、当センター会員は2,100
名を超え、2,200名に迫りつつ
あります。事業実績もコロナ以前の
水準に戻り、令和6年度末には9億円
に達する勢いです。また、インボイス
制度の導入、フリーランス新法の施行
により、会員の皆様に様々なご不便
をおかけし、ご容赦いただきましたと
存じます。

本年は、就業契約の継続維持と
発展はもとより、地域活動やボラン
ティア活動を積極的に展開し、セン
ター及び職場のイメージアップのため
新たな取り組みを図ります。会員相互
の親睦・交流のためのウォーキング
大会やバスツアーなども推進して
まいります。

会員の皆様の安全と健康維持の
対策は、何にも増して重要です。事故
の無いようにくれぐれもご注意いた
だきたいと思えます。

結びに、皆様の益々のご健康と
ご多幸をお祈りし、新年のご挨拶
といたします。

新年のあいさつ

府中市長 高野 律雄



新年明けましておめでとうござい
ます。

公益社団法人府中市シルバー人材
センターの会員並びにご家族の皆様
におかれましては、令和7年の新春
をお健やかに迎えのことと心から
お喜び申し上げます。また、皆様には
日頃より、市政の各般にわたり、ご
理解とご協力を賜り厚く御礼申し
あげます。

貴センターにおかれましては、設立
以来、「自主・自立、共働・共助」の
理念に基づき、地域のニーズに応じ
た信頼される事業を展開され、地域
福祉の向上及び地域経済の活性化に
ご尽力されてこられたことは、誠に
ご同慶にたえません。

これもひとえに松井会長をはじめ、
歴代の役員並びに会員の皆様が、
就労就業を通じて安定した運営に

努めてこられた賜物と、深く敬意を
表す次第でございます。

高齢者の皆様が、これまでの人生で
培ってこられた貴重な経験や豊富な
知識・技能を生かし、健康でいきいき
と充実した生活を送るために、なく
てはならない存在として、貴会への
期待とその役割は、ますます大きく
なってきております。本市といたしま
しても、市民の皆様が生きがいを持っ
て住み慣れた地域で安心して暮らせ
るよう、高齢者福祉をはじめ、様々
な市政の運営に努めるとともに、シル
バー人材センターの活動を支援して
まいりますので、皆様におかれまし
ては、変わらぬお力添えを賜ります
ようお願い申し上げます。

新春にあたり、府中市シルバ
ー人材センターのますますのご発展と、
会員並びにご家族皆様のご健勝、
ご多幸を心よりお祈り申し上げます。
、新年のご挨拶といたします。





令和7年の年男
野口 信一 さん

20歳代の頃は、55歳(当時の定年)まで働けば自由になれる。55歳になると、65歳まで働きたい。そして、68歳(70歳定年)のときは、定年後も「体力維持と精神的に老けない」ため、自由に働きたいと思っていました。

そんな思いで、令和4年にシルバーに入会した新参加者です。70歳で不自由



令和6年の年女
岡本 トミ子 さん

定年退職後、母の介護などで日々を過ごし、仕事から長い間離れていました。その後、時間に余裕ができた頃の広報でシルバーの会員募集を知り、友人に勧められたこともあり入会しました。

初めての就業先は、武蔵台文化センターの施設管理業務でした。仕事のプランクが長かったので、心配で

巳年生まれの元気な会員さん

な現役を引退し、令和5年から府中駅近くの商業施設でショッピングカートと買物カゴの回収整理業務を担当しています。

「豊富なキャリアを経験したシルバー会員9人」と就業し、体力維持にもなっています。現役時代に経験できなかった自由を楽しんでいて、老ける暇はありません。

9人の寛大な先輩会員や、センターの方とのつながりができて、感謝しています。これからも健康で元気な間は、働き続けたいと考えています。

したが、会員仲間からの親切な指導のお陰で、無事任期を満了することができました。その間、コロナ禍による予期せぬ対応などもありましたが、何とか乗り越えることができました。

また、単発業務として府中市主催の「平和展」来場者受付業務にも就業しました。体力的にきついときもありましたが、気持ちに張りができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

現在は、体力が衰えないよう軽い運動に励み、ハイキングなどで日々を過ごしています。

働く会員の職場訪問
選挙控 開票所用消耗品等整理業務

10月24日、衆議院選挙の投票日前に、「衆議院選挙投・開票所用消耗品等整理業務」の皆さんを訪ね、お話を伺いました。

就業場所は、緑町の旧みどり幼稚園で、リーダーの五十嵐さん、高橋さん、安川さん、吉木さん、寺沢さんの5人がチームを組み、業務にあたっていました。



就業期間は、投票日前後の12時間で、就業時間は9時から17時までです。業務内容は、市内50カ所の投票所で使用する消耗品や備品を用意することです。

消耗品は、鉛筆などの70数点がリストアップされています。それらを、投票所ごとのトランクに整理しながら詰めていきます。

消耗品等のリストは、長い間ほとんど品目に変更がないので、「このようなものが本当に必要か」と思えるものもあるそうです。



用意する個数は、投票所により異なるため、ミスがないように気を使います。しゃがんだ姿勢で行う作業であり、消耗品を詰めたトランクは相当に重くなるため、就業会員は腰を痛めないように注意しています。

備品については、投票記載台の照明器具、門標、誘導灯など様々なものがあり、一つひとつきれいに拭いておきます。

こうして用意したものを、投票日前夕に、各投票所の担当者に引き渡します。その場に立会い、追加の希望があれば対応します。

投票日の翌日からは、返ってきた備品等をチェックし、汚れたものはきれいにして元に戻します。就業会員の皆さんは、「シルバーの仕事の中では特別な部類に入る仕事ですが、市民の役に立っていると思えば頑張れます」と話されていました。

「ボートレース平和島・ピースターツアー」に参加

KSK(会員就業・交流事業検討会)が企画した令和6年度第1回目のバスツアーが、10月2日(水)と10月28日(月)の2回にわたり開催されました。行き先は、「ボートレース平和島・ピースターツアー」で、募集定員20名ずつ40名の会員が参加しました。1回目、2回目共に計画どおり順調に進み、参加者全員が大いに楽しむことができたものと思います。これも、業務多忙の中を事務局職員の支援と、平和島競艇場に勤務する市職員の親切な接遇のお陰であると、心から感謝する次第であります。



10月2日の参加者



毎回、新入会員の参加者の顔が見られ、これからのシルバーの仕事にも張り合いが出るのではないかと期待しています。参加者から「とても良かった、勉強



10月28日の参加者

府中リサイクルフェスタ 2024に参加

10月12日(土)10時から府中公園において、「府中リサイクルフェスタ2024」が秋晴れの好天の下、開催されました。府中市と府中リサイクル推進協会との共催によるものです。



フェスタの目的は、資源の再利用と物の有効活用であり、フリーマーケットを中心に、子供遊び広場や模擬店、行政コーナーが設けられ、多くの市民が参加しました。63店舗のフリーマーケットには、開始の10時前から来場者が集まり、衣類や食器類等の販売が行われ、品定めをして購入していました。

子供遊び広場では、幼児たちが牛乳パックを利用した、竹とんぼや紙飛行機を夢中になって作り、木工教室では、児童が金づちを恐る恐る使い、ボックススタンド(本箱)を作っていました。



模擬店では、焼きそば、フランクフルト、豚汁などが販売され、親子連れでにぎわっていました。当センターからは、刃物研ぎ班が10店舗、30本の刃物研ぎを行い、利用者から喜ばれました。



多摩職業能力開発センター
府中校 技能祭に参加



11月3日(日)、都立多摩職業能力開発センター府中校で開催された「技能祭」に、当センターが参加しました。FSCハンドメイドクラブの会員手作りの手芸品販売です。今回の新作として、ペーパークラフトによるカレンダーと、入園・入学グッズの手提げバック3点セットが出品されました。



ミニ・クリスマスマツリをご購入されたお客様から、「毎年技能祭で販売される手芸品

を楽しみにしている」と話がありました。そのとき、居合わせた会員一同に笑みがこぼれました。

リーダーの阿部さんは、「今年の販売会は16回を数え、11月には『府中アートパレード』に出店します。ふれあい会館では毎月第1水曜日開店していますので、ご来店をお待ちしています」とメッセージがありました。

地域懇談会開催される
(西府・片町・新町地区)

10～11月、地域懇談会が5つの地区で開催され、今回は3地区の実施状況をお知らせします。

10月24日(木)は西府、11月6日(水)は片町、11月21日(木)は新町で、それぞれの文化センターで開催されました。参加者は、それぞれ



36名、16名、40名でした。前半、当センターの理事から、「センターの現状と課題」の説明のあと、講演会等が開かれました。

後半は、西府では府中警察署から「特殊詐欺」の話がありました。

● 近年大幅に増加し、最近ではパートを語る詐欺が出てきた。

● 手口は、「○○デパートですがカードを誰かに貸しましたか?カードがお手元にあるか確認してください」「あります」と答えると、「どうやら偽造されたようです。こちらで警察に連絡し、後日カードを取りに行きます」と言い、カードを搾取!

● アポ電にも注意する。現金が家にあると言ってはいけない。「銀行に預けた」も要注意。金持ちの闇名簿に載せられる。



同じく片町では、NPO法人東京都セキユリティ促進協力会の高尾氏により「犯罪の未然防止の方程式」のお話がありました。

● 昨今多発している強盗事件の防犯のお話であり、犯行の主導権は犯罪企図者が握っている。犯罪の判断基準の反対の対応を

することが防犯の判断基準である。すなわち、『入りにくい』『見えやすい』『やりにくい』が防犯3原則と呼ばれる」とのお話でした。



● 新町では、出前講座は、府中市防災危機管理課の山田克徳氏により、「地震から命を守る『自助・共助』」について講演がありました。その要点は

- 災害時は近所の助けが一番で、隣近所のお付き合いが大事。
 - 災害用品の備蓄は、食品ストックは好きな味の確認を行い、また、使い捨て簡易トイレが必須。
 - 過去の被害状況から、どんな立派な環境でも災害時は個人の対処が重要。「備えあれば憂いなし」
- 令和7年2月以降については、中央白糸台、紅葉丘、武蔵台で開催されます。地区の会員はご参加願います。

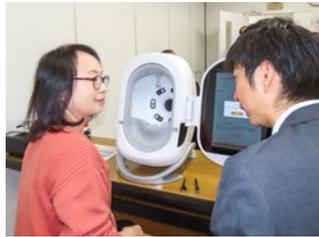
「健康・スキンケア講座」開催



東京しごと財団主催で、当センターが共催する健康スキンケアの講座が、11月20日(水)13時から、ふれあい会館で開催されました。男性も含め24名の

市民の参加がありました。受付の後、「糖化度」の測定、「自動肌診断機」による測定をしました。測定結果はプリントアウトされ、各自に渡されました。続いて、見附総務副委員長により、センターに入会するまでの流れ、仕事の種類、内容の説明がありました。仕事以外の活動や同好会の紹介もありました。次に、事務局の小谷田次長の挨拶の後、実際に就業している様子をDVDで上映し、それぞれの就業内容の説明がされました。いよいよ菊地あやの先生の講習会です。講師は素肌美容の専門家、配られたテキストに沿って、スクリーンを使い解説がありました。

「糖化による肌リスクとケア」。糖化とは何か、糖化による肌リスクとしての「シワ・たるみ・くすみ」のケア方法や表情筋のトレーニング方法について、実演を交えて教えていただきました。また、自分に似合う色を知ることが、アンチエイジングカラーになるそうです。



最後に、参加者のひとり菊地先生をお勧めのケアメイクが行われました。終了後、先生は個別に肌悩みなどの相談に対応してくださいました。

参加者は、事務局や総務委員の説明に関心を持たれ、入会説明会の予約をされました。



「日帰りバスツアー」開催

11月25日(月)9時から、「クリーンセンター多摩川」見学のバスツアーが開催されました。大國魂神社前から出発した観光バスには、33名の会員が乗車しました。

車中で、会員就業・交流事業検討委員会から、委員紹介と行程の説明がありました。是政橋から右手に見える真つ白な富士山に見とれている間に、施設に到着しました。施設職員の誘導で3階会議室に移動してセンターの概要説明、紹介ビデオを視聴しました。

この施設は、府中市、稲城市、狛江市、国立市の「もえるごみ」を焼却する施設です。一日450トンを集めたごみピットを、上部から見て、3基の炉で焼却処理されている様子を見学しました。

焼却熱で130度に熱せられた温水は、近くの稲城市立病院に地中配管で送られ、発電されて病院内で使われています。また、クリーンセンター内でも、余熱発電は照明、冷暖房に利用され、余剰電力は売電されているそうです。

施設見学では、参加者からの質問を交え、日常生活で欠かすことのできない「ごみ問題」について、改めて考える機会となりました。



11月25日「日帰りバスツアー」

11時半過ぎによみうりランドに到着し、バーベキューの昼食です。5、6名ずつのグループに分かれ、和気あいあいと談笑し、美味しい食事を楽しみました。近場のため時間に余裕があり、食事の後、観覧車に乗ったりゆっくり散策する参加者もいて、「楽しかった。参加してよかった」という声が聞かれました。定刻には大國魂神社前に帰着しました。

府中市の市報(12月15日号)で、「シルバー人材センター特集」の記事が掲載されました。インタビュにに応じていただいた会員の方々、その他関係者のご協力に感謝いたします。

KSK(会員就業・交流事業検討会) 写真コンテスト入賞作品の発表

写真コンテスト第37回の入選作品



阿部 文恵さん
『バルーン』



佐野 正毅さん
『2024 競馬場花火大会』



田丸 博巳さん
『案山子もビックリ』

写真コンテスト第38回の入選作品



田中 和美さん
『グラスで水分補給』



松村 巖さん
『郷土の森公園にて「彼岸花」』



中村 勢津子さん
『秋一番』

元気な班長さん 第5回 ◆四谷地区◆



势能俊一さん

必ずピンポンして挨拶をします。ボランティア清掃では、班長会議に参加して、参加の機会を得ました。多くの参加者を願って、各班長と分担してお知らせのチラシを工夫して作成しています。

現在、地域委員も兼ねて2年ほどになります。班長のときとは違い、前の地域委員に「やってよ」と呼びかけられたからです。

班長会議では、地域懇談会の企画があります。参加者が多数集まるように、他地区の懇談会にも参加して参考にしました。コロナ以前には、ポッチャの道具を運び、実施したこともあります。

班長会は、行事が無事終了すると「よし」となり、メンバーの協力の気持ち何より嬉しいです。

シルバーは会員で成り立つので、多くの方に班長に参加してほしいと思います。「このシルバーの10年は、あつという間でした」と感慨を述べられました。

退職後はヨット三昧の10年、その後はシルバーの10年で、昨年6月に表彰されました。この間文化センター業務などで、組織をよく知らずに過ごしてきました。

班長になったきっかけは、知り合いだった前の班長が体調を崩され、「これは代わらなければ、お世話になりっぱなしではまずい」と自ら班長を申し出ました。

班長の仕事は、班長会への出席、月1回のシルバーニュースの配布、ボランティア清掃への参加と、次第に理解が深まりました。

ニュースの配布では、20人ほどの会員が担当で、一度巡ればほぼ覚えるので、苦勞はありません。新入会員の場合には、

11月の入会説明会が開催

11月5日(火)の9時から、ふれあい会館3階の会議室で、11月の入会説明会が開催されました。説明会予約の28名に対し、参加者は25名となりました。

冒頭、小谷田次長から配布資料の確認があり、続いて佐藤総務委員長から、シルバーの組織と位置付け、センターの事業、センターの運営について説明がありました。

その後、小谷田次長による入会の手続き、入会の申込について、次のような説明がありました。

- 入会の際は家族の理解を得て行い、入会申込書に緊急連絡先を2人希望する仕事と希望曜日を書く。
- センターの仕事は、発注者から請負等の形で受け、会員に再請負で提供されるので、発注者と会員には雇用関係がない。ただし、労働者派遣の仕事は雇用関係となる。
- 仕事を完了すると、月まとめて配分金が支払われる。
- 就業報告書は、就業完了後又は月末後3日以内に提出する。配分金は、翌月25日に郵便局振込みで支払われる。
- 就業基準は、多くの会員に公平な就業機会を提供するため、1週間20時間、1月当たり概ね10日で、ローテーション就業となる。

● 特定業務には年齢制限を設け、人気のある公共施設は3年程度で替わり、募集は公開とする。

その他、シルバー保険の説明があり、



入会説明会は1時間終了しました。その後、面接予約申込票を提出して散会となりました。

渋谷彰元会長 東京都功労者表彰を受賞

10月1日(火)、「東京都名誉都民の顕彰」及び「東京都功労者表彰」の式典が挙行され、3人の名誉都民の選定に加え、東京都功労者として290名(19団体を含む)の表彰が執り行われました。



この度、当センター元会長の渋谷彰さんが、目出度く「福祉・医療・衛生功労」の表彰を受賞しました。名誉ある受賞に、センター会員共々、お祝いを申し上げます。

小林紀代会員 「安全標語」優秀賞受賞



会員の小林紀代さんが、東京都シルバー人材センター連合の「安全大会」で、優秀賞を受賞されました。誠に

におめでとうございました。受賞した安全標語は「これくらい 緩む心に 潜む事故」でした。

行事予定

- 2月 中央地域・紅葉丘地域懇談会
- 3月 白糸台地域・武蔵台地域懇談会
- 3月 安全・健康推進ウォーキング
- 3月22日(土) シルバーフェア
- 3月23日(日) 交通安全パレード

計 報

- 小坂田 昭 (多磨町)
- 平賀 伴孝 (住吉町)
- 寺尾 貞二 (美好町)
- 田中 良己 (美好町)
- 梁井 正康 (是政)

慎んでお悔やみ申しあげます

編集後記

あけましておめでとうございます。皆様には、巳年の新年を清々しくお迎えのことと存じます。

昨年は、大谷翔平選手がMLBで、史上初の「54本塁打59盗塁」を達成するなど、記録づくめの活躍をしました。新たな記録の1ページを作ったとも言われています。

ナ・リーグで54本塁打と130打点で2冠王に輝いた大谷選手を、ヤンキーズのアーロン・ジャッジ選手(選手会 MVP の受賞者)は、「球界最高の選手、野球にとつて素晴らしいアンバサダー」と称賛しています。今年もまた、MLB所属の日本選手に、なお一層の活躍を期待したいと思います。

本紙では、今年もセンターの事業内容を、平易でわかり易くお伝えしたいと思っております。引き続き、ご愛読のほどよろしくお願いたします。

(総務委員長 佐藤)

